

卒業後の進路

作業療法学専攻

進学

大学院・修士課程：修士（作業療法学）

- 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 作業療法学分野

博士課程

- 看護学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 保健科学分野

就職

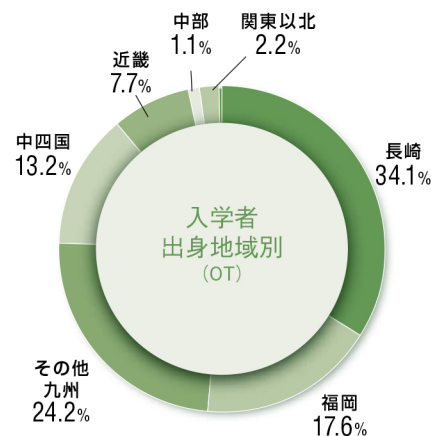
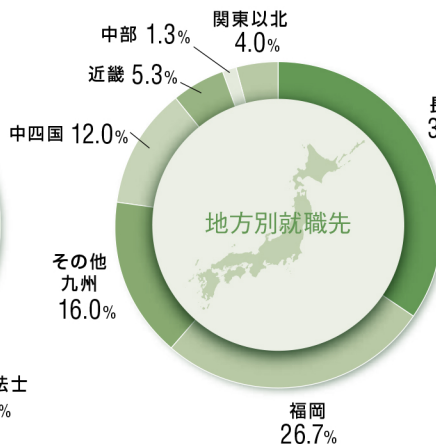
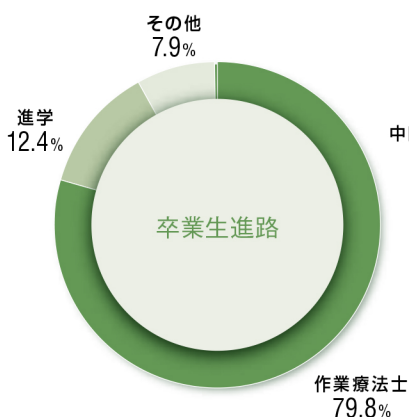
医療領域

- 総合病院 ●大学病院 ●リハビリテーション病院
- 精神・神経科病院 ●こども病院
- リハビリテーションセンター ●訪問看護ステーション他

保健・福祉領域

- 保健センター ●精神保健センター ●介護老人保健施設 ●介護老人福祉施設 ●通所リハビリテーション
- 通所介護 ●身体障害者更正施設・養護施設・授産施設 ●身体障害者更正相談所 ●精神障害者授産施設
- 小規模作業所 ●肢体不自由児施設 ●母子通園施設 ●心身障害児（者）施設 ●テクノイドセンター ●保育園

過去5年の実績



活躍する卒業生

専門性を高め可能性を広げることができました

東恩納 拓也
東京家政大学（作業療法士）
作業療法学専攻9期生（2013年度卒業）



現在、私は東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科で教員として勤務しています。作業療法士や理学療法士を志す学生の皆さんのために教育の立場で仕事をしています。また、発達領域を専門にし、主に神経発達症（発達障害）のある子どもたちにみられる協調運動障害をテーマに研究も行っています。

私は大学卒業後すぐに大学院へ進学し、修士課程、博士課程を修了しました。また、医療型障害児入所施設で勤務し、重症心身障害や発達障害のある方々を対象に臨床業務も行ってきました。大学を卒業した当時は大学院へ進学する学生は少なかったのですが、最近では大学院へ進学する後輩たちも増え、全国的にも修士号や博士号の学位をもつ作業療法士が増えています。

作業療法士は対象者一人ひとりの生活や「その人らしさ」に焦点を当てる必要不可欠な存在であり、周囲から求められる専門性が高まっていると思います。長崎大学では卒業後も学び合い、専門性を高め、個人の可能性を広げることのできる環境があると思います。

様々な分野で活躍できます

山口 良太
長崎大学病院（作業療法士）
作業療法学専攻10期生（2014年度卒業）



私は現在、長崎大学病院で脳梗塞など脳血管疾患を呈した急性期の患者さんに対するリハビリテーションを行っています。患者さんにとって「意味のある作業」とは何かを考え、患者さんが再び出来るようになると思うこと、その中で今の段階でやれること、やらなければならないことは何かを患者さんと共有しながら作業療法を行っています。急性期の脳血管疾患の患者さんは病状が不安定なことが多く、症状の変化を見逃さないことや徹底したリスク管理が重要となります。その中で日々変化し出来ることが増えていく患者さんの姿を見ると「やってよかった」と思え、次の仕事への活力につながります。また、大学病院は脳血管疾患だけでなく運動器や呼吸器など様々な疾患を持つ患者さんもおられ必要な知識も多いですが、その分やりがいも多く感じています。作業療法士は様々な分野で活躍していますが、その中で自分にあう分野を見つけられる魅力的な職業だと思います。